

### 教科等別年間指導計画

学年	2	教科 目標	運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。		
教科	保健体育 (保健)				
授業 方法 形態	一斉指導 グループ指導 実技指導		先生 から 一言	環境保全について考えよう。 傷害の防止について考えよう 自分の生活を振り返り、自分の考えを積極的に発表しよう。	
月	単元名	単元のねらい, 内容	評価規準・方法等	総合的な学習, ことばの教育, 環境教育, 情報教育等との関連	時数
4	健康と環境 ・環境の変化に体はどうか ・快適な環境の条件	体には、環境に対してある程度まで適応能力があること、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解する	・健康と環境とのかかわりについて、自分や仲間の生活を振り返って課題を見つけ、その課題解決方法を考えることができる。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト)	学習プリントや学習ノートへの記入の仕方  教科書やビデオ、資料を活用し、学習内容を記入  資料分析、資料活用能力  自分の考えを伝える発表の仕方の工夫  テーマにそって自分の言葉書く力	10
5	・部屋の空気をきれいに ・水と私達の生活	飲料水や空気は、健康と密接な関係があることから、衛生的な基準に適合するよう管理する必要があることを理解させる。	・健康に密接に関わる空気や飲料水の条件、生活に伴って生じる廃棄物の適切な処理の仕方について理解している。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト)		
6	・し尿・生活排水の処理 ・ごみの処理 ・環境の汚染と保全	人間の活動によって生じた廃棄物は、衛生的に環境を汚染しないように処理する必要があることを理解させる。	・環境汚染に関心をもち、仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むことができる。 ・環境汚染に関する資料を活用して学習できる。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト)		
12	傷害の防止 ・傷害の原因と防止 ・交通事故の現状と原因 ・交通事故の防止 ・自然災害に備えて	自然災害や交通事故などによる傷害は人的要因や環境要因などがかわって発生すること、また、傷害の多くは安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解させる。	・傷害の防止について、資料を見たり、自分の日常生活を振り返ったりしながら課題を発見しようとしている。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト)	資料の活用 データ分析 互いの課題を意識して、アドバイスをしながら教えあう力	11
1	・応急手当の意義と手順 ・意識がない場合の手当 ・きずの手当	応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止したり、生命を救ったりすることができることを、実習を通して理解させる。	・自然災害や交通事故による傷害の発生要因や防止対策について知っている。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト)	学習活動全体を自己評価し、新しい課題を把握する力	
2			・教師や仲間と共に活動したり、教科書などの資料を読み、課題について調べたり、応急手当の実習に取り組んだりしている。 (授業態度・発表・ノート・定期テスト)		